

さかい議会だより

ぎかいのひろば

No. 199 3月定例会

令和4年5月15日発行

特集

市議会

地域防災指導員 連絡会

- 4 ● 3月定例会ではこんなことが決まりました
- 7 ● わたしたちのお金、どう使う？(令和4年度予算審査)
- 10 ● そこが聞きたい！！一般質問
- 15 ● オンラインで行政視察を行いました
- 16 ● オンラインによる意見交換会を開催しました
- 17 ● 高校生と意見交換を行いました！
- 18 ● あの質問、どうなったの？



※写真撮影の際だけ、マスクを外しています。

▲市役所庁舎北側防災センター前にて

地域防災指導員連絡会



特集

防災活動の相談や出前講座を通して、市民の防災意識高揚に寄与してくださっている地域防災指導員。4つあるグループのうち、3つのグループ(DIG,HUG, イメージ TEN)の代表の方々にお話を伺いました。

* DIG- 災害図上訓練、HUG - 避難所運営ゲーム、イメージ TEN - 自主防災組織災害対応訓練

地域防災指導員になったきっかけは？

- 地区の防災会長、防災委員になったことです。
- 自分や家族の命を守るためには、もっと防災のことを勉強しないといけないと思ったことです。
- 地域の防災力向上の手助けになればという思いがあったからです。
- 実際に災害が起こったときに自分自身が個人として何ができるかと考えたときに、倒れている人に対する救急手当などの技能を覚えたいと思ったことです。

どんなことを行っていますか？

- 地区の防災訓練の相談や出前講座を行っています。
- 教えるためには、まず自分が覚えなければいけないので研修に参加します。
- 出前講座は、地区防災の戦力となる中学生にも行っています。
- 自分が被災した場合、避難所に行けるか心配なのでマニュアルを作り対応をできるようにしています。



▲ 出前講座など活動の様子

活動の頻度は？

- 出前講座は、コロナ前は年60回ありましたが、今はコロナの影響で年20回くらいになりました。
- 研修会は、新しく指導員になった人を中心に行っています。



嬉しかったこと、良かったこと、大変だったことは？

- 小中学生に対して出前講座をする中で、子どもたちに「ありがとう」と感謝していただいたときにやっていた良かったなと感じます。
- 訓練を通じて、避難所の中には生活に不便な場所があることや、本部と連絡の取りにくいところがあることがわかり、良かったです。
- 避難所の運営において、コロナの影響により当初考えていた体育館の割振りをパーティションの設置などを含め、考え直さないといけなくなったことが大変です。
- コロナ前に避難所マニュアルを作成しましたが、会合を開くことができず、見直しができていません。避難所運営も変わってくると思うので、コロナが落ち着けばまた会合を再開したいです。



市や議会に望むことは？

- コロナの影響で、出前講座の回数が減ってきています。活躍の場を増やしてもらいたいです。

市民に伝えたいことは？

- 支援を待っているのではなく、常に自分自身で対処できるよう準備してください。
- 実際に災害が起こったら「市が何とかしてくれる」と思っている人が多いですが、自分の命は自分で守るという意識を持ってほしいです。
- 避難所に集まってきたらまず最初に声を出す人になってもらいたいです。

地域防災指導員のみなさんにお会いして、常日頃の心掛け、訓練、準備の大切さがわかりました。地域や会社での防災活動の中からより必要性を感じ勉強し地域に貢献しようと集まった方たちだと感じました。湖西市の防災力向上のためには大いに活動していただけるように応援していきたいと思います。ありがとうございました。



☆防災出前講座を実施しています。

学校や市内企業、自主防災会など、様々な団体にご利用いただいています。

災害の基礎知識や日々の備えなど、ご希望の内容に合わせて講座を実施いたしますので、興味のある方はお気軽にお問い合わせください。

湖西市危機管理課 ☎ 053-576-4538

3月定例会ではこんなことが決まりました

3月定例会

会 期
2月18日～3月23日

条例制定……………	1件	令和4年度予算…	7件
条例の一部改正…	11件	請願……………	1件
補正予算……………	7件	決議……………	2件
人事案件……………	5件	その他……………	1件
		合計	35件

この中から
2つの質問を
紹介します!!

人事案件

公平委員会委員

任期満了となる片桐一成氏かたぎりいちせい（浜松市中区）、白井富士子氏しらいふじ（吉美）を引き続き選任、荻野幸宏氏おぎのゆきひろの後任として、長田尚史氏おさだ なおふみ（新居町中之郷）を選任することに同意した。

固定資産評価審査委員会委員

任期満了となる蒔山富士雄氏まきやま ふじ お（新居町内山）、水島晴美氏みずしまはるよし（浜松市中区）を引き続き選任することに同意した。

再生可能エネルギー発電設備の適正な設置に関する条例を制定

太陽光など再生可能エネルギー発電設備の設置による災害発生の防止や自然環境、生活環境の保全のため、適正な設置に関する事項を定めるもので、全員賛成により可決した。

問

条例第3条に、市の責務として、円滑な運用を図るよう必要な措置を講じなければならないとあるが、「必要な措置」とは何か。

答

再生可能エネルギー発電設備の設置や維持管理に対し、その内容と状況を把握し、発電設備の設置、管理および運営における必要な指導、助言および勧告を行い、それに従わないときは事業者の公表などを行っていくことである。

保育園・幼保連携型認定こども園0～2歳児の保育料一部引き下げへ

保育園・幼保連携型認定こども園の0～2歳児の保育料について、近隣他市と比較して高水準であった中所得・低所得の階層における保育料を引き下げようとするもので、全員賛成により可決した。

問

条例改正に至った経緯は。

答

タウンミーティングなど市民との意見交換の場で、子育て世帯への負担軽減についてのご意見が寄せられたことや、湖西市へ転入された方から、転入前より保育料が高いという意見をいただいていたことがきっかけである。近隣市町の保育料を調べたところ、湖西市の保育料は他市町と比較して高い水準の階層があったことから、職住近接、移住定住の促進にも効果が見込まれる低所得・中所得の階層の保育料の見直しに至った。

賛否が分かれた議案一覧

議案番号・議案名	結果	柴田 一雄	加藤 治司	滝本 幸夫	三上 元	福永 桂子	菅沼 淳	土屋 和幸	高柳 達弥	楠 浩幸	佐原 佳美	吉田 建二	加藤 弘己	竹内 祐子	荻野 利明	馬場 衛	中村 博行	神谷 里枝	二橋 益良
議案第25号 令和4年度湖西市一般会計予算	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●	-	○	○	○
議案第26号 令和4年度湖西市国民健康保険事業特別会計予算	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●	-	○	○	○
議案第31号 令和4年度湖西市病院事業会計予算	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	●	○	○
議案第34号 議案第25号令和4年度湖西市一般会計予算に対する附帯決議	可決	○	○	○	●	●	○	○	○	○	○	○	○	○	●	-	●	○	○

※「○」は賛成、「●」は反対。 ※議長(馬場衛)は採決に加わらない。

附帯決議〈議案第34号〉

本予算の執行にあたり、同報無線戸別受信機購入の補助率については、再検討するよう要望する。

本会議での討論〈議案第25号〉

●反対

コロナ禍で、住民の暮らしは困難になり、地方は福祉・医療の危機、地域経済の衰退など多くの課題に直面している。国の制度改悪による社会保障削減や、都市部での中心市街地への開発と立地の集中、公共施設の統廃合・縮小などが推し進められる中、市民に寄り添った予算か、が問われる。この予算は企業を優先し、市民を置き去りにしていると言わざるを得ない。長引く不況と財政難の時こそ市民の暮らしや営業、福祉を守ることが最優先されるべきと考えるため、反対する。

○賛成

コロナ禍の市政運営も足かけ3年となり、自治体に求められる役割や人々の生活に影響が及んでいる。財源確保の厳しい中、公共施設整備基金の活用により財政調整基金残高の確保に努めるなど財政の健全化を図ろうとする姿勢が伺えるほか、省エネルギー化に向けた取り組み、子育て支援、教育の充実、ごみ焼却施設の再稼働など、市民にとって必要な事業を着実に推進していく予算編成となっていると評価する。今後予定されている大型事業や、早急に改修が必要な施設整備も多く控えていることから、「選択と集中」により効率的で安定した市政運営がなされることを期待し、賛成する。

本会議での討論〈議案第31号〉

●反対

市が9億2,700万円余の援助をしても2億6,000万円余が不足の大きな費用を見込んでいる赤字予算案である。費用の補填が中心の例年通りの予算案である。赤字の原因がデジタル化で見えるように仕組みを変えないと毎年10億円の援助は続くと判断する。前市長時代からと合わせると20年で、200億円となり、ほぼ1年分の一般会計の予算に匹敵する。

○賛成

本予算は、基準外のいわゆる「営業助成繰入金」を前年度比6,700万円の減額計上したことを評価し、賛成する。今後についても、「基準外の繰入」の解消に向け、さらなる経営努力を期待する。

請願第1号

私たち高校生が湖西市に将来住みたいと思えるまちづくりに関する請願

採択

(要約)

私たち湖西高校、新居高校生徒は市議会の皆さんの出前講座や意見交換を進める中で、主権者としての自覚が芽生えてきた。令和4年4月から18歳の年を迎え、成人となるが、世の中に直接関わり、世の中を変える方法を知り、世の中とつながることが大事だと感じた。湖西で仕事をして住み続けたいと思えるためには、産業構造の変化への多様な対応と環境の整備を市の政策に結び付けていただけるよう、以下5項目を請願する。

- ① 高校生でも使えるデマンドバス学割など移動手段の検討(くらしやすさ)
- ② Instagram など若い世代へのさらなる湖西市の情報発信(集客)
- ③ ショッピングモールなど商業施設の誘致(集客・雇用)
- ④ サイクリングロードとパーキングエリアの整備(観光・集客)
- ⑤ 海や湖を活かした観光レジャー施設の誘致(観光・雇用)

※全員賛成により採択された後、請願内容が実現するよう市長に送付しました。

高校生と市議会との意見交換については17ページもご覧ください！

議案第32号

ロシア連邦のウクライナへの軍事侵攻を非難する決議

可決

令和4年2月24日、国際社会の懸命な外交努力にもかかわらず、ロシア連邦はウクライナへの軍事侵攻を開始した。これは民主的に選出された政権と、その国の主権を武力によって否定する行為である。さらに、2国だけの問題ではなく、国際秩序の根幹を揺るがす行為として、国連総会も「ロシア軍の即時撤退」を141対5で採択した。本市議会は、人道的見地からも、ロシア連邦が直ちに戦闘を停止し、すみやかに世界との話し合いの席に着くことを強く訴える。

わたしたちのお金、 どう使う？

令和 4 年度各会計予算を可決

今回は予算特別委員会の中から、

いくつかの質疑を **PICK UP!**

「学校給食センター整備」など

令和 4 年度各会計予算を以下の委員会に付託して審査を行った。

予算特別委員会

→ 一般会計

総務経済委員会

→ 国民健康保険・後期高齢者医療事業会計

福祉教育委員会

→ 介護保険・病院事業会計

建設環境委員会

→ 公共下水道・水道事業会計

次ページをご覧ください！

令和 4 年度各会計予算

会計区分		令和 4 年度 予算額	令和 3 年度 予算額	対前年度比 ※▲は減額
一般会計		248 億 8,000 万円	216 億 2,000 万円	15.1%
特別会計	国民健康保険事業	55 億 3,500 万円	56 億 1,600 万円	▲ 1.4%
	介護保険事業	43 億 1,666 万円	41 億 4,414 万円	4.2%
	後期高齢者医療事業	8 億 500 万円	7 億 2,900 万円	10.4%
企業会計	公共下水道事業	26 億 5,994 万円	25 億 2,515 万円	5.3%
	水道事業	18 億 9,682 万円	18 億 4,027 万円	3.1%
	病院事業	38 億 4,650 万円	39 億 5,441 万円	▲ 2.7%
合 計		439 億 3,992 万円	404 億 2,897 万円	8.7%

市 税

問 個人市民税の徴収率を96.5%に設定した根拠は。

答 令和3年度予算においては、未知の新型コロナウイルス感染症の影響を考慮し、以前よりも徴収率を低く設定し、96.0%としたところである。令和4年度予算においては、ワクチン効果などによる沈静化を見込み、徴収率は回復するものと考えるが、長引く新型コロナウイルス感染症の影響を考慮し、大幅な回復は難しいと考え96.5%とした。

地域福祉

問 生活保護扶助費が前年より約1億1,000万円増額の理由は。

答 予算計上に際しては、直近1年間の支出額をベースに積算していくことになる。令和4年度の予算額は令和3年度の当初予算額と比較すると約1億1千万円の増額となっているが、令和3年度については、12月定例会において約1億円増額補正している。受給者数は年々、徐々に増加しており、傾向としては高齢者や傷病者が多く、医療扶助が約半分を占めている。今後もこの傾向は続くものと考えている。

広 報

問 広報戦略・シティプロモーションの概要とこさいプロモーションとの違いと期待できる成果は。

答 従前のものについては、明確に戦略などがあったプロモーション活動ではなかった。今後は、戦略を策定し、根拠に基づいた施策・情報発信を行うとともに、新たなニーズの把握や効果の検証を行い、随時、戦略の見直しを図る予定である。これにより多くの方が湖西市への愛着を高め、住み続けていただけることや、湖西市への移住意欲を高め、住んでいただけることを期待している。

モノづくり

問 新規のモノづくり推進事業の詳細は。

答 市内企業の実態を把握し、課題解決に向けたモノづくり推進計画の策定や、企業訪問により企業の抱える困りごとの相談を受け、課題解決のために商工会などの支援機関や関連企業につなぐなど、モノづくり産業ネットワークに関する取り組みを推進していく。また、小中学生、高校生を対象として、令和2年度に作成したキャリア教育リストを活用し、工場見学や出前講座、職業講話などをマッチングする事業も実施する予定である。

公共交通

問 地域公共交通対策事業について、コーちゃんタクシー（デマンド型乗合タクシー）の利用方法が分かりづらい。どのようにお年寄りに分かりやすく周知するのか。

答 対象となる自治会や老人クラブの集まりに向いての説明、対象地区へのチラシの回覧などを行っている。今後は、各地区の老人クラブへ出向き、登録申請から登録完了後の予約方法、当日の利用の仕方まで一連の流れを丁寧に説明することで理解を深めていきたい。また、各自治会への説明に加えて民生委員の方々から周知していただくなど、様々な方面から啓発を実施していきたい。

観 光

問 市内の観光協会を統合し、
どのような形態になるのか。

答 湖西市、新居町両観光協会は令和4年3月末をもって事業終了、4月1日より新観光協会としてスタートする。令和3年度中に4回の設立準備会議を重ね、名称(「湖西・新居観光協会」)、所在地(海湖館1階)、理事会を設置した一般社団法人としての立ち上げ、事業内容、会費、役員定数などについて合意の上、決定した。新観光協会においては、それまでの事業を精査しつつ、市全域・細部にわたる観光資源の掘り起こしと情報発信を行い、市からの委託事業の受託などを目指し、将来的に自走できる組織となることを期待する。



◀ 海湖館

教 育

問 学校給食センター整備事業計画
支援等業務における委託内容(仕様)
は。

答 PFI方式による事業者の公募・選定・契約を行うにあたり、PFI法その他関連する規定の諸手続きを円滑に進めるため、必要な金融、法務および技術面などにおける支援、ならびに必要な調査・検討および実施方針、要求水準書(案)など資料作成の支援を受けるものである。

PFI

民間の資金と経営能力・技術力(ノウハウ)を活用し、公共施設などの設計、建設、改修、維持管理などを行う公共事業の手法。

道 路

問 地元要望道路改良事業費の増額は
自治会等要望に沿ったものか。

答 土木課へは41自治会から300件以上の地元要望が寄せられ、その中で危険を伴うものは速やかに現地を確認し、優先的に必要な措置を講じている。その他は要望書を横並びにし、緊急性・公共性・協力性などの観点から評価を行い、自治会間の公平性を保った上で、予算の範囲内で実施するものを決定する。多額の予算が必要となるものは、複数年での実施や実施困難となる場合もある。令和4年度は、道路側溝において生活排水の滞留により臭気が生じている箇所など2路線の側溝改修工事を予定している。

図 書 館

問 電子書籍の貸し出しサービスの
具体的な内容は。

答 デジタル化された書籍をスマホやパソコンで借りて読むことができるサービスを10月に開始する。公共図書館向けに出版されている電子書籍を貸し出すほか、デジタル化した郷土資料や行政資料を登録して閲覧することが可能となり、令和4年度は、小説や実用書など約2,200冊の電子書籍の提供を予定している。電子書籍ならではの、音声読み上げや文字拡大機能が付いたものを充実させていくことを考えており、図書館システムと連携させることで、共通の貸出カード番号・パスワードで利用可能である。

そこが聞きたい!!

一般質問

一般質問は、議案と関係なく市の行政全般にわたり、事務の執行状況や将来の方針について所信をただし、あるいは報告・説明を求めるもので、定例会に限って行われます。

今3月定例会では、15人の議員が一般質問を行いました。



湖西市議会公式サイト

▶▶▶ ウェブサイトで本会議の映像を見ることができます。

湖西市議会 再生リスト
令和4年3月定例会

<https://www.city.kosai.shizuoka.jp/gikai/index.html>



湖西市議会

▶ 本会議インターネット放送

▶ 本会議の放送はこちらから(YouTubeへ)



加藤 弘己 議員

水道事業の課題への対応

問 官民連携の検討は。官民連携が課題解決の万能策と考えているか。

答 令和3年12月、ソーラエナジー株式会社と包括連携協定に基づく事業連携に関する合意書を締結した。水道料金などのクレジット決済、スマートメーターを活用した共同自動検針の実証実験、管路整備のコスト削減などの効果検証を行う。設備の更新などには民間の知見やノウハウを活用できるなどのメリットがある。コンセッション方式(民間会社が運営権を所有・管理・運営)は利益重視による水質の低下や料金の高騰などが懸念され、官民連携が課題解決の万能策とは考えないが、利用者へのサービス向上が図られるものは積極的に取り入れたい。

施政方針について

問 インターチェンジ付近の開発、土地計画の全体像と工業用地確保に向けた中長期計画の策定、住宅用地確保の効果的な政策の実行と基本方針の策定状況は。また、組織の現状と将来像は。

答 土地利用推進本部を設置した。推進本部会議では、「土地利用に関するグランドデザインの策定」などの4項目を検討する。また、企業ヒアリングにより用地の取得・拡張の希望を把握したため、工業用地確保分科会で分析していく。企業の用地の相談窓口を推進本部に一元化し、さらに、土地利用の一体的推進のため、令和4年度には都市計画課内に新たに「まちづくり企画係」を設置する予定である。今後、「浜松湖西豊橋道路」周辺の道路網の整備や工業用地の確保など、部局横断的に検討していく。

移住・定住支援制度の現状と課題について

問 『住もっか「こさい」定住促進奨励金』の利用者の現状は。

答 初年度の令和元年度は、10月の制度開始から6カ月間で3件、令和2年度は111件、令和3年度は2月末までに110件と年々増加している。これまでに32世帯、91人が市外から転入、192世帯618人が市内での転居という形で定住していただいている。

問 新たな移住・定住支援制度、街の魅力の発信は。

答 モノづくり人材育成・産業ネットワークの構築や土地利用を中長期的に積み上げていくことが重要である。市街化区域中心に宅地を増やし、工業団地や商業施設を組み合わせることが移住定住人口減少対策に有効だと考える。令和4年度は、市制50周年を契機に「地域おこし協力隊」を活用し、ご当地グルメプロジェクトによるブランド起こしと定着など、様々な人と連携して進めることが必要だと考えている。



柴田 一雄 議員

成年後見制度の利用促進について

問 中核機関立ち上げ後の相談範囲の考えは。

答 市内4地区の地域包括支援センターにおいて、総合相談窓口の中に成年後見制度にかかる相談体制を設置している。簡易な相談は市内4地区の地域包括支援センターで、専門性の高い相談は中核機関(湖西市社会福祉協議会)で対応することになるため、連携した体制づくりを図っていきたい。なお、金銭、施設紹介、家族トラブルなどの相談は、どちらの窓口でも対応できる体制を考えている。

問 中核機関立ち上げ後、市民への周知はどのように行う予定か。

答 中核機関の周知は、市民対象の成年後見制度講演会において情報発信していく。福祉関係者へのチラシの配布や、民生委員・児童委員への情報提供、広報紙への特集記事の掲載や、市ウェブサイトへ掲載のほか、SNSを活用した情報発信により積極的に周知していきたい。



土屋 和幸 議員

不登校児童生徒への支援について

問 不登校児童生徒の学校以外での居場所づくり、保護者の情報交換の場や相談体制などの支援強化の考えは。

答 不登校児童生徒の居場所づくりについては、引き続きチャレンジ教室を開催していく。教職員、スクールカウンセラー、スクールソーシャルワーカーなどが児童生徒、保護者を支援しており、チャレンジ教室やヤングダイヤルこさい、家庭児童相談室でも相談活動を行っている。令和4年4月からの「子ども家庭総合支援拠点」の創設に合わせ、「育ちの応援ステーション」や、地域や民間の適応教室があれば、連携を持って不登校児童生徒の居場所を増やしていきたい。

施政方針について

問 不登校児童生徒へのオンライン教育の場の提供や出席扱いなど、教育機会確保法への対応は。

答 タブレット型パソコンが一人1台配備され、オンライン授業など不登校児童生徒の学習機会を保障する環境が整ってきている。出席扱いは、学校と保護者の間に十分な連携・協力関係が保たれているなどの要件を満たした上で、学校長が判断している。ICTを活用することで、個々の状況に応じた学習支援に努めていく。不登校児童生徒が多様化している状況を踏まえ、安心して教育を受けることができる環境作りに今後も努めていく。



神谷 里枝 議員

公共施設再配置計画(公共建築物)の進捗状況について

問 30年間で公共施設の総延床面積を20%縮減する目標を進捗状況からどう捉えるか。また、モデルプランのような再配置を進めないと削減目標が達成できないのでは。

答 第1期では、新型コロナウイルス感染症の影響による歳入減や、コロナ対策費用の影響などによる事業の見直しにより、計画どおりにはいかなかった。縮減目標を達成するためには、「学校教育施設適正化検討委員会」の令和3年度末の検討結果を踏まえた学校施設の適正配置の検討、その他公共施設の再配置の見直しを行い、施設の総延床面積の縮減や統合・複合化をより一層推進していかなければならない。再配置個別計画にあるモデルプランは、公共施設を複合化した場合の例であり、統廃合や複合化の可能性を施設所管部門内で検討し、再配置を推進していきたい。

施政方針について

問 新居弁天公園を含む周辺施設は「みなとオアシス浜名湖」に認定され、代表施設は「海湖館」などとされている。新居弁天公園整備事業で整備される施設は観光拠点としてどのような位置づけになるか。

答 今回の新居弁天地域活用事業については、すでに「みなとオアシス」に登録されている新居弁天公園内や、これから利活用を含めるところを地域一帯として賑わいを生み出せる開発事業を行っていく。新居弁天地域への観光誘客の促進が、湖西市・浜名湖観光圏全体の活性化になると位置付けて進めていきたい。



高柳 達弥 議員

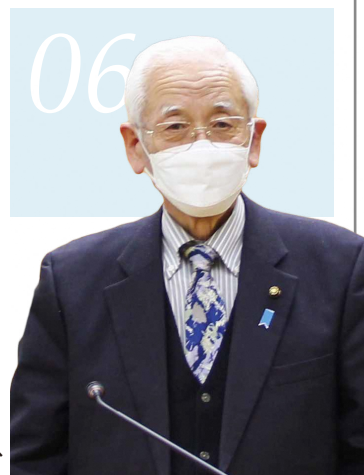
新型コロナウイルス感染症対策について

問 感染症を予防するために、市民の方々に実践してほしい事項は。

答 基本的な感染予防・防止対策として言われている、うがい、手洗い、消毒、マスクの着用、密閉・密集・密接の3密の回避、室内のこまめな換気の徹底、感染が拡大している地域への不要・不急の外出を控えるなど、一人ひとりの行動が、大切なご家族やご友人など身近な方、そして自分自身を守ることにつながる。気を緩めることなく感染対策の実践をお願いしたい。

問 コロナに関する市民の不安を軽減する手法として、相談窓口の充実やこまめな広報が効果的であると考えてるが、市の考えは。

答 発熱相談窓口を今後も継続し、相談の内容によっては、国や県が設置している相談窓口を紹介するなど、市民に寄り添った対応を行っていききたい。今後も、市民にダイレクトに伝わる同報無線の活用や、SNSを活用した広報を行い、必要な情報を適切なタイミングで、分かりやすく市民に周知していききたい。



吉田 建二 議員

湖西市の観光政策について

問 観光振興組織の再編について、進捗状況と、行政と観光協会・観光地域づくり法人との役割分担をどの様に考えているのか。

答 令和4年4月1日から新組織としてのスタートを予定している。浜松・浜名湖ツーリズムビューローには、行政や新観光協会では困難な、大都市のスケールメリットを活かした広域的な情報発信を、新観光協会には細やかな市内の情報発信による市内来訪者増加の取り組みを期待し、行政としては、ハード・ソフト両面での基盤整備を順次行っていききたい。

問 新居井天地域の再整備について、公園の整備、管理運営に関する市の考え方と、事業者の応募状況は。

答 当地域での利活用事業の目的は、「年間を通して賑わいのある“訪れる地域づくり”と“地元住民に愛される観光地域づくり”」としており、令和4年1月に公表した公募指針には、来訪される方々だけが楽しむ施設整備だけではなく、地域住民・市民も利用する公園部分の整備も条件として盛り込んだ。3月4日に公募設置等計画の受付が終了し、1件の応募をいただいた。



楠 浩幸 議員

社会的検査の拡充と自宅療養者の支援を

問 社会的検査を実施する考えは。

答 発熱などの症状がある方へのPCR検査については、「地域外来・検査センター」を設置し、現在は、平日の月～金曜日の週5日間実施している。また、市内12の診療所においても、PCR検査にご協力いただき、実施している。定期的な検査については、それぞれの施設に応じて対応が異なることから、市では統一した検査を実施していくという事は考えていない。

その他の質問…特別障害者手当について、市民に周知を

運転免許証の自主返納促進に向けた取組と公共交通サービスの周知について

問 市としての、高齢者の運転免許証の自主返納促進に向けた取り組みは。

答 免許返納後も移動で困ることがないように、公共交通サービスの充実を図っているところである。具体的には、令和4年4月からコーちゃんタクシー（デマンド型乗合タクシー）を原則市内全域で利用可能となるよう、運行区域を拡大するほか、企業シャトルBaaSの社会実装を目指した実証実験の継続、コーちゃんバスの運行効率と利便性の向上への取り組みなどである。



荻野 利明 議員

白須賀地区海岸線の駐車場、トイレおよび道路の整備について

問 地元の有志が新たな駐車場の設置を計画しているが、市からどのような協力が得られるか。

答 愛知県との県境に近い海岸端の敷地に駐車場を造成したいということで聞いている。駐車場の設置計画の話が進む中で、市が協力できるものが何か、明確になってくると思われる。事業計画を策定していくにあたり、今後も引き続き、地域に寄り添いながら協力させていただきたいと考えている。

問 地元の有志による駐車場が設置された場合に、市としてトイレを設置し、管理する考えは。

答 道の駅潮見坂、白須賀海岸西側駐車場のほか、元町公園や大倉戸農村公園、浜名保安林駐車場にもトイレが設置されているため、現時点では充足されていると考えている。今後、釣り・サーフィンなどがさらに盛んになり、来訪者が増え、観光振興・地域活性化への繋がりが構成されていけば、市有地など官有地における駐車場整備、トイレの改修・設置などの可能性も出てくる。

09



滝本 幸夫 議員

新設「子ども家庭総合支援拠点」の体制および子育て支援センターの機能について

問 新年度からの産前産後ケア事業の拡充は。

答 令和4年度から助産院も委託先の一つとすること、現行の宿泊型・デイサービス型に加え「訪問」による産後ケアも実施できるよう準備を進めている。

問 市内に療育センター設置を希望する声が多いが、子育て支援センターの運営を民間の専門機関に委託して機能強化する考えは。

答 発達に課題のある子どもへの支援の一つとして、令和3年度後半から、県の事業である出張巡回相談を2か月に一度実施している。また、今後の子育て支援センターの在り方については、民間の専門機関や子育て支援に関わる関係機関の意見を聞きながら、民間委託の方法も選択肢に含め、湖西市に合った子育て支援センターの在り方を研究していく。



佐原 佳美 議員

デジタル時代への当市の対応

問 日本のGDPは30年間横ばいだが、デジタル化で先行しているシンガポールやエストニアはこの20年でGDPが2～3倍になっている。デジタル化をうまく実施すればGDPの向上になるという認識でデジタル化を進めているか。

答 デジタル技術を活用し、作業を自動化することは、DX推進における大切な視点の一つであり、時間的・人的な余裕を生み出し、創造性や生産性を高めていくことは重要なことだと認識している。市民の利便性向上、行政事務の効率化のため、AI・RPAの導入を進めていくなど、令和4年度も様々なDX関連施策の実施を予定しており、スピード感を持ってデジタル化に取り組んでいく。

AI… 人工知能

RPA… パソコンで行っている事務作業を自動化すること

問 浜松市は前向きのようなが、デジタル通貨の導入についての市の考えは。

答 デジタル通貨の導入は地域経済活性化につながる施策の一つと認識している。キャッシュレス化とデジタル地域通貨は、広域的な課題として捉え、経済効果や課題などについて、「遠州広域行政推進会議」のテーマとするなど、これまでその枠組の中で研究を行ってきた。

新年度は、市制50周年を契機とした市内飲食店デジタルスタンプラリーや、市内事業者へのタブレット配布、キャッシュレス決済導入セミナーといった事業を通じ、地域のデジタル化に対する意識を高める地盤づくりを行うとともに、他市を参考に、活用方法や運用について研究を進めたい。

11



三上 元 議員

湖西市における文化芸術振興への取組状況について

12

問 文化芸術に関する方針や実施事業に対する考えは。文化芸術基本法の趣旨をどう捉えているか。

答 文化芸術に関する活動は、個々の自主的で多種多様な活動を尊重することが重要と考えている。その上で、国の基本的施策に沿い、市および文化協会は、年4回の文化芸術の鑑賞機会と発表の場の提供といった、個々の市民文化活動の参画促進や文化意識の向上支援を行っている。課題は、市が関与する団体以外の個人や団体への支援が行き渡らないこと、時代による多様な文化活動の中で、従来の団体活動による文化活動に人が集まらないことなどである。

問 文化協会の実情から見える問題点や課題をどう捉えているか。活性化のための支援策は。

答 高齢化による新規加入者不足による団体の解消や、SNSなどを使った多種多様な文化活動がある中で、会費を負担して団体として文化協会に加盟する意義が見いだせないなどの理由から、年々、協会の規模は小さくなっている。市は支援の必要性を感じている。令和4年度から後継者育成のため、協会に加盟する団体に活動支援補助金を支給する制度を新設するなど、支援を行う予定である。



福永 桂子 議員

施政方針について

13

問 畜産事業者の脱臭設備投資意欲が厳しい状況だが、支援策は十分な効果があるのか。

答 原油価格の高騰など経営環境は苦しい状況にあるが、事業者の方々は前向きに捉えていただいております。臭気対策に尽力いただいております。今後も、脱臭設備や消臭飼料といった効果的なものの購入に対する支援など、地道な努力が必要と考えています。引き続き臭気対策プロジェクトチームを中心に、県などと連携を取りながら対策を進めていきたい。

問 市内企業からの工業用地の確保に対する要望はどう受け止めているか。今後の工業用地拡大をどう計画するのか。

答 工業用地の確保については、直接または商工会を通じて多くのご要望をいただいております。土地利活用推進本部に相談窓口を一元化した。工業用地の確保はサプライチェーン強靱化の観点からも行政として取り組んでいかなければいけないと考えています。現在、県と連携し開発可能性調査を行っており、大倉戸茶屋松線や浜松湖西豊橋道路の整備状況を踏まえ、ご要望に応える形で着実に進めていきたい。

二橋 益良 議員

施政方針について(「職住近接」を阻害する津波&臭気対策について)

問 早急に防潮堤整備計画を作成し、アピールする考えは。

答 令和3年10月に市内4番目の津波避難施設(高師山地区津波避難タワー)の完成により、すべての津波避難施設空白域が解消され、地域の皆様と防災訓練、自助、共助による防災力の向上に取り組んでいただいております。今後は、南海トラフ巨大地震などによる被害の防止・軽減のため、地域の特性を踏まえ、ハード・ソフト施策のバランスを取りながら防災まちづくりの方針、防潮堤の整備方針も含めた合意形成を令和5年度末までに図り、情報発信していく。

問 臭気対策プロジェクトチームのこれまでの活動と今後の改善策の内容、改善対策を市民にアピールする考えは。

答 臭気対策プロジェクトチームは県中小家畜研究センターにもアドバイスをいただきながら活動しており、市内全養豚事業者との意見交換、臭気測定調査などを行ってきた。調査では、堆肥攪拌(かくはん)作業以外でも臭気が高い状況があったり、行った2回の調査の結果に違いがあったりしたため、継続的に調査していく必要がある。現在行っている施設の清掃・改修、消臭剤噴霧などの抑制対策のほか、県との連携をさらに強化し新たな臭気対策技術の実証実験実施、支援の充実を図り、取組について情報発信していきたい。

14



加藤 治司 議員

問 湖西病院と市内外の医療機関との役割分担・病病連携を深め、地域医療の充実をどう進めるのか。

答 コロナ禍で湖西病院や医師会の方々には休みなく対応していただき、感謝している。今後は市外の高度急性期医療機関との連携強化により、湖西病院もしくは市内でできない診療をカバーしてもらうことに加え、治療を終えた患者さんの回復期の受け入れを行い、経営改善にもつなげていきたい。また、救急の受け入れの役割分担についても協議しており、連携強化によって地域医療、市民サービスの向上につなげたい。

問 経営改善をどう進めるのか。

答 まずはコロナ禍を乗り越えることが改善を進める上で重要である。利用する患者さんを増やしていくためにスタッフや常勤医の補充に努め、医療体制の充実、増収につなげたい。また、在宅、かかりつけ医療への比重の拡大、総合診療医を中心とした地域に密着した医療サービスを展開していくことが大事であると考えており、できることを進めていく。



中村 博行 議員

オンラインで行政視察を行いました

●福祉教育委員会

とき：令和3年12月23日

相手：千葉市教育委員会事務局教育総務部学校施設課

内容：学校施設のエレベーター設置に関する方針や基準などについて



当委員会として「インクルーシブ教育の推進」に関する調査研究を進める中で、学校施設のエレベーター設置に積極的に取り組んでいる千葉市にオンライン視察を行った。

千葉市では、車椅子を利用している、または同程度の障害を有し、移動に困難を伴う児童・生徒が在籍あるいは入学予定である場合には、優先度の高い学校からエレベーターを設置する方針であり、令和3年4月1日現在の小中学校等の設置率は47%とのことであった。

エレベーターを必要とする対象者の把握方法や、設置優先度の基準、設置の条件、設置に係る費用などについて、詳細な説明を受けた。

今回の視察で学んだことを活かし、当市におけるエレベーターの設置を含む学校施設のバリアフリー化の推進に向けてさらなる調査研究を進めていきたい。

●議会活動推進特別委員会

とき：令和4年2月3日

相手：茨城県 取手市議会

内容：オンライン会議、ICTの取組について ほか



早稲田大学マニフェスト研究所が行う議会改革度調査2020で全国ランキング1位となった茨城県取手市議会にオンライン視察を行い、オンライン会議や議会ICT化の取組などについて話を伺った。各種会議、現地視察、広報広聴、災害対応、研修、完全ペーパーレス化などにおける様々な取組が紹介された。議会事務局のサポートにより議員のタブレット利活用が促進され、業務の効率化が図られているとともに、職員の労働時間と経費削減にもつながっていた。

このほか、予算決算審査サイクルと手法について、重点事業の調査結果が決算審査、議会の提言が予算審査に反映される仕組みが構築されていた。

今回の視察で学んだことを活かし、当市議会のさらなる議会改革を進めていきたい。

オンラインによる意見交換会を開催しました

令和3年度におきましては、新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止の観点から令和2年度と同様に、対面方式による議会報告会は中止としましたが、新たな試みとしてオンラインによる意見交換会を開催いたしました。

市議会として初めてのオンラインによる意見交換会ということもあり、参加者を限定しての開催とさせていただきます。

詳細については、市議会ウェブサイトに掲載の実施報告書をご覧ください。議会事務局での閲覧も可能です。

開催日時	令和4年1月26日(水) 19時00分～20時30分	
参 加 者	KSL から9名の方にご参加いただきました。	
	KSL (Kosai Saiko Labo) とは →市内在住、在勤の若い世代の方が、未来の湖西について様々なテーマで意見交換を行うことを目的とした集まり。	
テ ー マ	①常任委員会ごとに調査研究事項に沿ったテーマを選出し、それぞれのテーマについて意見を伺いました。	
	総務経済委員会	(1) 職場における災害対応について ----- (2) 普段の情報収集の方法について
	福祉教育委員会	湖西市立学校の規模および配置について
	建設環境委員会	ごみの減量、資源化への取り組みについて
	②議会・議員活動について、議員に聞きたいことを伺いました。	



高校生と意見交換を行いました！

選挙権年齢が18歳に引き下げられたことから、若者がまちづくりを考えるきっかけづくりとするため、市議会では例年、湖西・新居両高校生との意見交換会を開催してきました。令和2年は書面での意見交換となりましたが、令和3年はコロナ対策を講じた上で、対面で意見交換を行いました。また、湖西市の課題を共有し議論を深めるために、各校1回ずつだった意見交換の回数を3回に増やして意見の深掘りを行い、最終的に意見を政策提言としてまとめました。政策提言は請願として令和4年3月定例会に提出されました。（請願については6ページをご覧ください）

11月

意見交換①

市議会の概要やこれからの産業構造の変化について議員が説明したのち、湖西市の「困っていること」「あったらいいな」について話し合いました。

バスの本数が少ない・・・



商業施設があったらいいな



12月

意見交換②

前回の意見交換での内容を掘り下げ、湖西市の課題を抽出しました。



議場見学もしました！

1月

意見交換③

両校の代表者が集まり、各校で話し合ってきた内容についてさらに掘り下げ、政策提言に向けて話し合いました。



請願

市民の要望を国や自治体に届ける方法の一つ。どなたでも提出することができ、議員の紹介があるものを請願という。

政策提言へ

※詳細はウェブサイトにも掲載する予定です。

あの質問、 どうなったの？

過去の定例会で行われた一般質問が、その後
どう取り組まれたのかを追跡します。

議会だより No.193 掲載

(令和2年10月31日付発行)

高齢者にやさしい交通手段のあるまちへ

問

地域公共交通会議では、コーちゃん
バスを中心とした「公共交通施策は限
界が来ており」とのことだが、内容は。

答

市の公共交通に関する市民満足度は低く、バ
ス停が遠いなどの意見が寄せられているが、バ
ス業界全体が運転手不足と働き方改革という課
題を抱えている。市では、デマンド型乗合タク
シーの運行区域拡大や BaaS 事業など、新たな公
共交通サービスに取り組んでいく。

追跡してみると



令和4年4月から、
コーちゃんタクシー（デマンド型乗
合タクシー）は原則市内全域で利用可
能となるよう、運行区域が拡大され
ました。

・・・ 市議会からのお知らせ ・・・

「ぎかいのひろば」を スマホでも！

マチイロ を使えば、

ぎかいのひろば をスマートフォンで
読むことができます。
(※別途通信料がかかります。)



利用
方法

- ① 右のコードからアクセス
- ② 「マチイロ」をダウンロード
- ③ 個人設定→お住いの地域を
「湖西市」に設定



編集委員 (◎は委員長、○は副委員長)

◎馬場 衛 ○土屋 和幸 柴田 一雄 滝本 幸夫
三上 元 福永 桂子 竹内 祐子 中村 博行

6月定例会の予定

日	月	火	水	木	金	土
5/29	30	31	1	2	3	4
5	6	7 10:00～ 本会議第1日	8	9	10	11
12	13	14	15 10:00～ 本会議第2日 (一般質問)	16 10:00～ 本会議第3日 (一般質問)	17 10:00～ 本会議第4日 (一般質問)	18
19	20	21 10:00～ 本会議第5日	22 10:00～ 総務経済 委員会	23 10:00～ 福祉教育 委員会	24 10:00～ 建設環境 委員会	25
26	27	28 10:00～ 本会議第6日	29	30	7/1	2

予定が変わることもありますので、議会事務局へお問い合わせください。

ぎかいのひろば No. 199
令和4年5月15日発行

次回は
令和4年7月31日 発行予定です

発行／湖西市議会 議会だより編集委員会
〒431-0492 静岡県湖西市吉美3268番地
TEL.053-576-4791 / FAX.053-576-0331
<https://www.city.kosai.shizuoka.jp/>

湖西市議会
公式サイトも
ご覧ください

